

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年 4 月26日
【会社名】	株式会社アルバック
【英訳名】	ULVAC, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 諏訪 秀則
【本店の所在の場所】	神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
【電話番号】	(0467) 89 - 2033 (大代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 本吉 光
【最寄りの連絡場所】	神奈川県茅ヶ崎市萩園2500番地
【電話番号】	(0467) 89 - 2033 (大代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営企画室長 本吉 光
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)

1【提出理由】

当社及び連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

平成24年4月26日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

急激な事業環境の変化により、当社の主力事業であるF P D製造装置の受注が急速に減少したのに加え、開発要素の高いF P D製造装置、一般産業用装置、P V製造装置などにおいて、多額の追加原価の発生が重なったことや、マテリアル事業の減速、さらには円高が継続したことなどにより収益が大幅に悪化いたしました。

また、急激な環境変化による受注高の減少で、期末受注残高が大幅に減少し、平成25年6月期の業績に大きな影響を及ぼす見込みとなりました。加えて、当社グループにおいて減価償却費や人件費といった固定費負担が高くなるなど、収益確保が難しくなっておりまいりました。

当社グループは、これまで売上高4,000億円以上、経常利益率10%以上の目標を掲げるとともに、シェア拡大を重視した成長を目指していましたが、経営環境の大きな変化に迅速に対処する必要が生じてまいりました。

そのため、売上高4,000億円以上、経常利益10%以上の目標は一旦見送り、当社グループの主要なお客様であるエレクトロニクス産業の特徴である、設備投資の大きな波にも耐えられるような筋肉質の会社にするために、事業戦略の大幅な方針変更を行います。

当社グループは、今後の成長戦略を実現するために、収益確保や成長戦略を始めとする「事業構造改革プラン」を策定し、早急に実施することといたしました。

当該「事業構造改革プラン」の実施にともない発生する損失は特別損失に計上する予定であります。

(3) 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

(個別)

当該事象により、平成24年6月期の個別財務諸表において、事業構造改善費用として22,305百万円を特別損失に計上し、繰延税金資産の取崩しとして12,862百万円を法人税等調整額に計上する見込みであります。

なお、事業構造改善費用の主な内訳は、以下の通りとなっております。

- ・ たな卸資産評価損 8,490百万円
- ・ 固定資産除却損 6,188百万円
- ・ 固定資産の減損損失 1,579百万円
- ・ 希望退職者の募集にともない発生する特別加算退職金等 3,182百万円

(連結)

当該事象により、平成24年6月期の連結財務諸表において、事業構造改善費用として26,041百万円を特別損失に計上し、繰延税金資産の取崩しとして13,463百万円を法人税等調整額に計上する見込みであります。

なお、事業構造改善費用の主な内訳は、以下の通りとなっております。

- ・ たな卸資産評価損 8,490百万円
- ・ 固定資産除却損 6,188百万円
- ・ 固定資産の減損損失 5,031百万円
- ・ 希望退職者の募集にともない発生する特別加算退職金等 4,882百万円

以上